

伊調千春

銀



〒030-0180
青森市第二問屋町3丁目1番89号
東奥日報社
電話 017-739-1111
(C)東奥日報社 2008

インターネット
号外



レスリング
女子

「自分に感謝」

ご購読のお問い合わせは
東奥日報社読者局



0120-0146-5939

ヨム

コウドクサンキュー

24時間受付

北京五輪第9日の16日、レスリング女子48キロ級に出場した伊調千春（八戸市出身、総合警備保障）は、決勝でキャロル・ハイン（カナダ）に判定で敗れ、アテネ五輪に続く銀メダルとなった。4年前の雪辱と、17日の63キロ級に出場する妹・馨との姉妹優勝は果たせなかった。

決勝の第1ピリオド、伊調千は開始直後、足を狙われ、場外で1ポイントを奪われると、終了間際にタックルを決められ0-4でこのピリオドを落とした。

【女子48キロ級決勝】カナダのキャロル・ハイン（左）に攻められる伊調千春（中国農大体育館（共同））

巻き返しを狙った第2ピリオド。伊調千はタックルを取りにいったが逆にバックに回られ、さらにローリングを決められて0-2。守りを固めたハインから最後まで1ポイントも挙げられず、敗退した。

伊調千は3回戦でアテネ五輪決勝で敗れたメルレニ（ウクライナ）と対戦。第1ピリオドを落とし、リードされていた第2ピリオド終了間際、フオールで逆転勝ちした。準決勝はチャン（米国）に接戦で判定勝ちを収め、決勝に進んだ。

伊調千春の話 アテネからの4年、（妹の）馨と一緒に歩んだ道は最高の道だったから、ここまで来られたのが誇り。このメダルも金メダルだと思おう。今まで頑張ってきた自分に感謝したい。

詳細は朝刊で